

トップ
コミットメントサステナビリティ
推進体制JFRの
マテリアリティ低炭素社会への
貢献サプライチェーン
全体のマネジメント地域社会との
共生ダイバーシティ
の推進ワーク・ライフ・
バランスの実現事業会社の
ESGの取り組み

ガバナンス

データ集

育児・介護と仕事の両立 生産性向上への取り組み → **健康経営の推進**

健康経営の推進

健康保守・増進の取り組み

JFRグループは「従業員は会社にとって最大の財産であり、お客様によりよいサービスを提供するためには、まず従業員が心身ともに健康であることが何よりも大切である」と考えています。この基本的な考え方にに基づき、労働安全衛生の徹底、従業員の健康保持・増進の取り組みを推進しています。人生100年時代の到来を見据え、従業員の健康管理の重要性は高まっており、健康保険組合と連携して生活習慣病予防、メンタルヘルスケアに重点を置いて推進しています。

新型コロナウイルス感染症への取り組み

新型コロナウイルスの感染の影響により、従業員の健康保持・増進、労働安全の取り組みの重要性が高まっています。JFRグループは、新型コロナウイルスの感染防止対策として、従業員の健康管理を徹底しています。毎日の検温と報告（テレワーク中の社員含む）や、テレワーク・時差出勤・オンライン会議の推進、職場におけるソーシャルディスタンスの確保など様々な対策を実施しています。また、地域の感染状況に対応して、随時、従業員への感染防止対策の見直しを行い、周知を徹底しています。J.フロントリテイリング、大丸松坂屋百貨店は、長期化するテレワークにおいても、従業員やその家族の心身の健康状態を維持するため、産業医からの情報提供やオンライン面談、社内外の相談窓口の周知を行っています。

生活習慣病予防と婦人科検診、PSA検査の導入

JFRグループは、生活習慣病予防については、一般の定期健康診断はもとより、特定健康診査の項目を包含した生活習慣病予防健診を、35歳以上に対象を拡大して実施しています。また、乳がんや子宮がんの婦人科検診、50歳以上の男性を対象にしたPSA検査を導入しています。これらの健診データをもとに個人に対して産業医による保健指導を実施するとともに、事業所ごとに健康課題・目標を設定し、改善に向けて各種施策を実施しています。

定期健康診断受診率（大丸松坂屋百貨店）

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
対象者数	6,529人	6,551人	6,337人	5,223人	4,440人
受診者数	6,499人	6,530人	6,320人	5,216人	4,423人
受診率	99.5%	99.7%	99.7%	99.9%	99.6%

メンタルヘルスケア

JFRグループは、2016年度からWEB調査を活用したストレス指標の調査および結果フォローを行っています。さらに、法令で定められているストレス調査に加え、組織診断アンケートの結果を踏まえて、各事業会社の管理者や人事担当者へフィードバックし、従業員自身のセルフケアはもとより、いきいきと働くことができる職場環境の実現に向けた取り組みを推進しています。

大丸松坂屋百貨店とパルコは、外部の専門機関による

EAP（従業員支援プログラム）カウンセリングサービスを整備しています。

ストレスチェック実施実績（大丸松坂屋百貨店）

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
対象者数	3,558人	3,260人	3,293人	3,247人	3,119人
回答者数	3,035人	3,064人	3,159人	3,129人	3,010人
回答率	85.3%	94.0%	95.9%	96.4%	96.5%

健康白書作成

J.フロント健康保険組合では、被保険者等の健康保持・増進のため、会社と連携して保有する健診データを見える化し、2018年度から「健康白書」を編集しています。被保険者の健康診断や特定保健指導の受診状況、生活習慣病リスク保有者を事業所ごとに算出し、健康課題の抽出、解決に向けた取り組みに活用しています。また、医療費の状況も、診療別、性別・年代別等で集計・分析し、あわせて活用しています。

社外からの評価

●健康経営優良法人2020（2020年）

健康経営の取り組みが評価され、認定を取得しました。

